

※提言の詳細については、「偕楽園公園を愛する市民の会」HP に掲載しております。

## 「偕楽園公園の魅力向上を考える」水戸市の日本遺産と観光への提言

### I. 本会の概要

### II. 提言目的

魅力向上委員会では、研修・学習会を実施し、公園の現状・整備状況を学んできました。日本遺産に認定された偕楽園公園の魅力をもっと向上できるのではないかと、会員や来園者・地域住民より意見を聞き、内容について委員会で検証しアンケート順に紹介しながら、偕楽園公園のエリアごとに重要・優先・要望・意見に分け項目を付けて提言を作成し報告しますので、今後の「水戸市の観光」と「偕楽園公園の魅力向上」に役立てばと思います。

※ 重要/優先度の表示【重要:◎◎, 優先:◎, 要望:○, 意見:●】

### III. 提言内容 (アンケート項目順)

1. あなたの偕楽園(本園)の好きなところは、どういう所ですか？
2. あなたの偕楽園公園の魅力とは、何ですか？
3. 偕楽園公園内を走る鉄道(常磐線)や道路を、どう思いますか？
4. 偕楽園の景観・借景公園の現状を、どう思いますか？(見下ろす景観・見上げる景観)
5. 各エリアに分けて、意見・要望をお書きください。

#### ①A: 偕楽園(本園)エリア

- ①A 【◎】 観光・交通 好文亭表門からの入園と身障者用駐車場の活用
- ②A 【◎】 観光・施設整備 梅の種類紹介札の整備・管理
- ③A 【◎】 観光・情報発信事業 名所でのQRコード活用
- ④A 【●】 観光促進事業 犬の立入禁止 地元住民の利用が少なくなった偕楽園(本園)
- ⑤A 【◎◎】 史跡名勝整備事業 借景公園の偕楽園
- ⑥A 【●】 史跡整備事業 吐玉泉の女坂の史跡整備
- ⑦A 【●】 史跡整備事業 吐玉泉での森林浴・休息地としての整備
- ⑧A 【●】 史跡整備 吐玉泉は神社の手水舎
- ⑨A 【●】 史跡整備事業 吐玉泉から南門に至る湧水と水路の整備
- ⑩A 【◎◎】 史跡整備事業 見晴広場は一面の芝生の白さに「陽」の魅力あり
- ⑪A 【◎】 史跡整備事業 自然公園の中の近代的照明
- ⑫A 【◎◎】 状況報告 三公園の開閉園時間の比較と防犯災害時の現状
- ⑬A 【◎◎】 史跡名勝の維持管理 本園及び借景エリアの人工物等の色彩統一
- ⑭A 【○】 観光交通案内 まちなか駐車場・分かり易い案内板の見直し
- ⑮A 【◎】 身障者への整備事業 園内バリアフリーの範囲と史跡のバランス
- ⑯A 【◎◎】 史跡名勝整備事業 高低差の変化の魅力(スポット～パノラマ)
- ⑰A 【○】 史跡整備 常磐神社の森の整備
- ⑱A 【◎】 史跡整備 日本遺産にふさわしい、開園当初の土塁の整備・復元
- ⑲A 【◎】 施設整備 震災以降好文亭に近いトイレが使用できず不便な状態
- ⑳A 【◎◎】 見晴亭の活用の見直し 当初の見晴亭建設の趣旨で活用を！

**A：偕楽園・拡張部**（田鶴鳴梅林・四季の原など）

- ①A【◎】施設・整備 偕楽園公園の偕楽園エリアと偕楽園(本園)の区別
- ②A【◎】芝生広場の活用計画 レクリエーションやスポーツなどへの開放
- ③A【◎】史跡整備 見下ろす景勝エリアの整備と本園の季節感の融合
- ④A【◎】設備管理 偕楽園公園内の景観を踏まえた色調を関係機関統一  
[JR 電柱・フェンス・道路ガードレール・案内柱・河川整備護岸]
- ⑤A【◎】偕楽園公園内の駐車場の利用問題 公園利用目的の状況

**B：千波公園(市)エリア** 都市公園区域(千波湖・周回ジョギングコース・黄門像広場)

- ①B【◎◎】景観整備・観光 ボウリング場跡地・敷地の活用 <私有地>
- ②B【◎】観光 千波湖周辺から桜山[桜まつり]観光PR
- ③B【◎】史跡景観整備 千波湖整備と保存
- ④B【◎】観光交通 千波所周辺の駐車場の運用と現状
- ⑤B【◎】史跡景観整備 見下ろす景観・見上げる景観の現状
- ⑥B【◎】史跡整備 水戸の名所「柳堤」整備
- ⑦B【◎】観光 千波湖ジョギング健康小冊子の提案
- ⑧B【◎】親水事業・河川整備 水に触れられる環境整備
- ⑨B【◎】植栽の整備管理 偕楽園公園内の常磐線・道路沿いの植栽
- ⑩B【◎】斜面緑地の管理 斜面緑地・風致地区内の木々の伐採の現状

**C：千波公園(市)エリア**(少年の森・ハナミズキ広場・テニスコート・西の谷)

- ①C【◎◎】景勝地の確保 西の谷公園緑地入口釜神町県営アパート地の活用  
『水戸台地最後の重要景勝地、千波湖を見下ろす(千波湖八景)景勝地』
- ②C【◎】桜川堤防の整備 堤防による視界狭窄、路面高の確保
- ③C【◎】駐車場の利用 利用目的の現状
- ④C【○】史跡整備の検討 隣接区域の現状
- ⑤C【◎】西の谷公園緑地の活用 まちなかとの回遊及び歴史ロードの整備
- ⑥C【◎】新設駐車場の活用 期間限定大型車駐車場計画の運用・整備
- ⑦C【○】西の谷公園緑地の活用 歴史ロードの充実
- ⑧C【○】西の谷公園緑地の活用 自然保護の区域・身近な観察地区
- ⑨C【○】千波湖周辺の環境 野鳥のフンの状況

**C：千波公園(県)エリア**（近代美術館・文化センター周辺）

- ①C【○】現状確認・管理 若者の活動拠点作り
- ②C【○】水路・園路の管理整備 水の流れと園路管理

**D：桜川緑地エリア**（好文橋より上流部）

- ①D【◎】園路・サイクリング道路の整備  
『桜川右岸・駐車場からの回遊性が分断された公園から、繋がりのある公園へ』
- ②D【◎】河川敷の開放（飯盒炊飯・バーベキュー・オープンカフェ）

**E：沢渡川緑地エリア**

- ①E【◎】沢渡川緑地の整備管理 斜面緑地の繋がり・台地に挟まれた景観
- ②E【◎】エリアの繋がり園路整備 現在の自然環境を保護

- ③E【◎】見和台地沿い公園の生物保護 斜面緑地に多くの生物の生息域  
 F：逆川緑地エリア
- ①F【◎】逆川の園路整備 公園内の繋がりがある公園へ  
 ②F【◎】周辺地域との通行整備 周辺地域の公園として繋がりのある園路  
 ③F【◎】イベントの検討  
 ④F【◎】観光との連携 笠原水源・水戸神社の整備  
 G：紀州堀緑地エリア
- ①G【◎】まちなかの公園利用 まちなかに結び付けた施設を整備  
 H：東町運動公園エリア
- ①H【◎◎】東町運動公園の斜面整備 偕楽園公園エリア内の景観整備  
 ②H【◎】東町運動公園斜面緑地の保護 斜面緑地の繋がり  
 ③H【◎】沢渡川の史跡景観の保存 一対の弘道館と偕楽園のつながり  
 沢渡川の右岸桜山(玉龍泉)と左岸偕楽園(吐玉泉)の対岸(対の関係)、陰と陽  
 I：その他 (県立近代美術館・文化センター等)
- ①I【◎】近代美術館・文化センター通りの街路樹の維持管理  
 J：偕楽園公園の回遊について
- ①J【◎】観光交通 隣接各エリアとの交通連絡網  
 ②J【◎】観光交通 近隣地区と公園内への連絡通路の整備  
 K：全体について
- ①K【◎】偕楽園公園の魅力再発見の意見交換 県の「偕楽園公園サポート連絡会議」等  
 L：観光について
- ①L【◎◎】水戸駅南口と偕楽園 昔ながらの手漕ぎ舟  
 弘道館と偕楽園を結ぶ動線の整備 小型バスの運用  
 ②L【◎】まちなか駐車場利用促進の情報発信 常磐線より北エリアの情報発信  
 ③L【◎】②まちなか駐車場利用と8～10方面のインター活用と情報発信  
 ④L【◎】観光のピーク時パークアンドライドやシャトルバスの活用  
 M：水戸の観光について
- ①M【◎】観光 まちなかの駐車場の活用  
 ②M【◎】まちなかへの誘導と標識の検討 身障者駐車場の案内と市内観光  
 ③M【◎◎】観光 まちなか景観の現状と案内

～～観光とは、目的地に至るまでのアプローチが大切だ、  
 途中の景観や案内が出来ていないと、観光の魅力は半減する。～～

《アプローチ→目的地に至る途中の景観/食事/お土産/係わる人》

- ④M【◎◎】観光客への対応 タクシーやバスの運転手に対する観光地教育・QRコード活用  
 N：その他
- ①N【◎】 イベント・観光  
 ②N【○】 イベント・観光 「梅の実収穫祭」

- ③N【◎】観光交通 イベント・観光への道路白線の整備  
 ④N【◎】観光交通 偕楽園公園エリアへの侵入箇所の交通安全設備の整備  
 速度規制案内の充実＜現在も、低地エリアでは、時速 40 km規制中＞

#### IV. まとめ

今回、偕楽園公園の魅力向上を、提言するにあたり、偕楽園公園の広さを実感した。内容が多く関係機関・関係部署も多岐にわたっており、偕楽園公園の魅力向上を日本遺産・観光で考え、開園当時を基本にするのか、借景景観エリアをどこまでエリア規制を対象にするのか、公園内の人工物を出来るだけ排除し、目立たない物へ統一するのかなど、個々の関係機関で行うのではなく、偕楽園公園内での統一が大切と感じた。

今回の提言を機会に、疑問・意見を共有しこれからの日本遺産や観光の整備の参考になればと思います。

追記、

提言をまとめている最中、平成 30 年 1 月 22 日新聞に 29 年度県政世論調査の結果、県民が知人に自慢したい話題ベスト 10 が発表された。

29 年度	知人に自慢したいこと・もの	13 位	偕楽園であった。
他年度	28 年度	〃	11 位
	27 年度	〃	8 位
	26 年度	〃	7 位
	25 年度	友人に紹介したいもの	3 位
	24 年度	友人をどこに連れて行きたい	2 位

若干の設問の違いはあるが、結果に驚き「魅力向上」をしっかりと見直さなければいけない。

今回提言項目が多かったことは、観光の姿勢や史跡名勝の魅力・自然公園の景観の魅力など、しっかり検討すべきとの問題提起であると思う。

1842 年（天保 13）7 月好文亭竣工、偕楽園と命名し開園された。

2018 年は、開園から 176 年を迎えるが、開園 200 年大きな節目となる 2042 年までの 24 年間で、「景観十年、風景百年、風土千年」と言われるように、景観は近年の暮らしを反映するもので利便性での整備であった様に思うが、風景や風土の時間軸である地域の歴史・文化に立ち返った整備を提言していきたい。

資料・写真記録茨城の 20 世紀 ・水戸百年 ・水戸写真集明治大正昭和  
 ・水戸いまむかし ・常磐公園攬勝図誌 …等より写真掲載  
 ・S46 偕楽園公園事務所「偕楽園とその管理」より抜粋  
 ・商業開発研究所「みと」より抜粋 ・今年の「好文亭表門・桜山」

偕楽園公園を愛する市民の会 会長 湊 正雄（魅力向上委員会）  
 〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町 2-22／電話・FAX 029-247-0438